

平成26年 2級建築士学科試験 講評

はじめに、受験された皆様、本当にお疲れ様でした。
持っている力を存分に発揮することができたでしょうか。

1. 今年の試験は易しかったか、難しかったか

今年の試験の難易度は、施工がやや難しかったものの、全体としては例年どおりと言えます。

科目別に見ると、

- 計画：例年よりもやや易しかったと言えます。車椅子使用者が利用する傾斜路についての問題など、今年の設計製図課題「介護が必要な親（車椅子使用者）と同居する専用住宅（木造2階建）」を意識した出題が目につきました。
- 法規：一昨年に引き続き、難易度の高い科目となっています。暗記が通用せず、適合・不適合を判別するために、法令集の条文で一枝ずつ確認をしなければ正誤が判断できない出題（No. 4 便所の計画、No. 5 一般構造融合、No. 8 構造強度、No. 9 避難施設、No. 10 防火区画等、No. 11 内装制限、No. 19 準防火地域）が多数を占めました。また、関係法令は一昨年より、5問に増えてましたが、内容的には政令や規則までさかのぼって、対象となる規模を的確に確認しなければならない問題が出題され、設問の前文の見落としが致命傷になる問題（No. 25 関係法令）も見受けられました。
- 構造：例年どおりの問題構成であり、解答枝について特に目新しい出題がなかったことから、昨年よりもやや易しかったのではないかとと言えます。
- 施工：昨年に引き続き、やや難しかったと言えます。特に土工事・事業工事、杭工事、ALC工事や、木工事に関する継手、仕口、屋根等に関して細かい部分からの出題あった。

合格基準点は、各科目とも13点、総得点60点が原則とされています。平成18年から平成23年まではずっと原則どおりでしたが、平成24年は構造が12点、平成25年は法規が12点、施工が11点、総得点が58点に補正されました。

2. 解答番号は？

TACの解答速報は下記ホームページをご覧ください。

登録は不要です！

解答番号も個人情報も一切入力不要ですので、お気軽にご利用ください。

二級建築士学科試験解答速報ページURL

http://www.tac-school.co.jp/sokuhou/kenchiku/2_gakka.html

3. 今年の試験は何が変わったか 何か変わったか

平成24年から「試験内容の見直し」が行われ、出題内容については、①建築物の設計及び工事監理に関する技術の進歩・高度化、②環境問題、③社会構造の変化、④法令の改正等を踏まえ、適宜、見直しを行うと発表されました。

全体的な出題の構成は例年とほぼ同様ですが、内容的には、次のような新規問題が出題されています。

主な新規問題のテーマ

今年の試験では、次のような新しいテーマの問題が出題されました。

- 計画：小篠邸、立体最小限住居、平均熱貫流率、内部結露防止の図の問題、ダイレクトゲイン方式、冬日の判定、高齢者の視覚の黄変化、傾斜路のすり付け勾配、ディスプレイ、ガス吸収冷温水機、冷温水配管系の膨張タンク、気化式加湿器、放射冷房、部分負荷時における室内湿度、無線通信補助設備、非常コンセント設備など。
- 法規：高さ制限（No. 17）において、反対側に水面のある前面道路がある場合の2面道路での出題は初めての出題でした。また、新しいものでは、建築基準法86条の「一団地認定制度」（No. 20の枝1）のほか、関係法令（No. 23～No. 25）から細部の内容が出題されるという、近年の傾向は変わっていません。
- 構造：壁式鉄筋コンクリート造（No. 13）において、新規の出題がありました。H13告示1026号より、耐力壁の鉄筋比について、2階建ての1階部分は、原則0.2%としますが、「構造計算により安全を確認した場合の0.15%とすることができる。」同告示のただし書き規定より出題があり、受験生は多少戸惑ったと思われます。
- 施工：補強コンクリートブロック工事に代わり、ALCパネル工事が出題された点が特徴的である。場所打ちコンクリート杭における構造体強度補正值、ALCパネル工事の目地幅、木工事の継手、仕口等、改修工事のひび割れ補修など。

4. 製図試験対策

学科試験合格見込みの方は、さっそく設計製図対策をはじめましょう！

厳選された課題・カリキュラム！「二級建築士 設計製図本科生」（全8回）

公表された本試験課題に基づき、プランニングから製図完成まで、合格レベルの設計力を養成する設計製図対策コースです！

→ 2014年合格目標「二級建築士 設計製図本科生」の詳細はこちら

5. 来年の学科試験対策

来年の学科試験対策をお考えの方は、次の点に留意して、あまりブランクを設けずに学習を継続することが大切です。

① 構造力学と法規の克服

特に苦手とする方が多い「構造力学」と「法規」については、早い段階で基礎をしっかりと理解しておきましょう。

② 最新の出題傾向に対応した学習

TACでは、最新の出題傾向に対応し、特に次の内容を充実させた教材を作成しています。イラストを豊富に用いながら試験の出題ポイントをわかりやすく講義していきます。

■計画：環境問題

■法規：建築士法、関係法令の充実

■構造：耐震設計、技術の進歩・高度化

■施工：廃棄物の処理・改修工事

③ 法改正への対応

法令の改正等についての最新の情報にも注意が必要です。

特に次年度は、建築基準法の天井脱落防止措置、エレベーター・エスカレーターの落下防止措置の義務化などが要注意です。

万全の対策で合格を実現する！「二級建築士 総合学科本科生」（全50回）

特に苦手とする方が多い「構造力学」と「法規」について年内に基礎を固め、年明けの「本講義」に合流するコースです。充実のカリキュラムで合格まで導きます！

→ 2015年合格目標「二級建築士 総合学科本科生」の詳細はこちら

以 上

平成26年度 建築士 学科試験「解答解説会」 & TAC設計製図本科生「無料講座説明会」 同時開催！

予約不要・参加無料

学科試験の解答番号や合格点を推定するとともに、主要な問題の解説をいたします。また、設計製図の学習を安心して始めるための特別返金制度等についてもご説明します。

日程

二級建築士

渋谷校 7/10（木）

18:30~21:00

